



公共施設の有効活用を

使いやすい施設が必要

守重 夏樹 (民主・市民フォーラム)

公共施設は利用者のためであるべきです。具体例として「たまがわ・みらいパーク」の試行が終わり大枠が決定されます。企画運営委員会の努力にも関わらず、交通網等の整備が進まない中で利用者の数の少なさが指摘されていますが、そこだけを見て決定するのはバランスを欠くのではないのでしょうか。また、数多くの日本記録が生まれたこともある陸上競技場が、本来の競技場としてより運動会等の会場として利用が多いのは残念です。改修に對し前向きな考えを求めます。

「たまがわ・みらいパーク」については、駐車場の確保の問題など、様々な制約があつて現状の利用になつてゐることは十分承知しています。企画運営委員会の方の労苦に報いるためにも、そうしたことを踏まえ、総合的にどんな利用勝手がいいのかを検証していきましょう。陸上競技場については、開設当時から多摩でトップの競技場と認識していました。劣化によりほとんど利用がないことは大変残念であり、大規模改修に向け取り組んでいきたい。



市独自の雇用就労対策を

就労支援施策を継続

五十嵐 けん (市民の党)

来春卒業予定の大学生の就職内定率が調査開始した年以降最悪の状況となり、雇用情勢の悪化は大学卒以外にも深刻となっております。市独自の新たな雇用就労対策をとる必要があります。また、地域経済活性化推進員による就業、起業についての無料相談事業などの既存の政策にも予算を増額するべきと考えます。市職員の残業代の1割をカットすれば年間4千万円程の財源が生まれるので、手厚い市独自の雇用就労対策が可能となると考えますが、見解を伺います。

若年者の失業や就職率悪化については、今後の日本経済に大きな影響を及ぼす大変深刻な問題であると認識しています。雇用問題は、本来国が取り組むべき政策課題であると考えます。市としては、新たな独自事業は困難ですが、地域経済活性化推進員による相談事業や若年者就労支援事業、ワークチャンスフェアなどのきめ細かい就労支援施策を関係機関との連携のもと引き続き取り組んでいきます。市職員の残業代等の1割カットについては全く考えておりません。



分けない教育を

交流教育に取り組む

大沢 豊 (みどり立川)

現在の分離教育、特別支援学校のあり方の中では、地域の子どもたちが地域で暮らす場をなくしているというところに大きな心配を抱えています。地域の学校長が、特別支援学校に通っている子どもたちの情報をきちんと把握し、地域に住む特別支援学校等に通う親子に対する学校行事への参加の呼びかけや、特別支援学校に行き事案内の提案をすべきではないでしょうか。子どもたちを障害を理由に分けないことこそが教育の根幹にあるべきと考えますが、見解を伺います。

副籍事業の取り組みとして、特別支援学校の児童生徒が、居住する地域の小中学校の児童生徒と、お便り・交換便等を通じた間接的な交流を行うことから始め、学校行事への参加など直接的な交流を行うことを段階的に進めています。交流活動を重ねることにより、特別支援学校に通う子どもと近隣の子どもとが互いに触れ合う気持ち芽生えてきたと考えています。今後も特別支援学校と緊密な連携をとり、子どもたちにとつて実りある取り組みを実施していきたい。

各議案に対する賛否

公…公明党 民…民主・市民フォーラム 自…たちかわ自民党 共…日本共産党 み…みどり立川 市…市民の党 ネ…立川・生活者ネットワーク 安…安進会

賛否が分かれた議案

注)議長は採決に加わりません
○…賛成 ×…反対

件名	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	結果
	議員名	稲橋 ゆみ子	小川 あきこ	伊藤 大輔	山本 みちよ	高口 靖彦	安東 太郎	木原 宏	古屋 直彦	中山 ひと美	須崎 八朗	福島 正美	伊藤 幸秀	岩元 喜代子	大石 ふみお	梅田 春生	五十嵐 けん	永元 須摩子	浅川 修一	堀江 重宏	上條 彰一	大沢 豊	田中 清勝	守重 夏樹	太田 光久	堀 憲一	中島 光男	清水 孝治	佐藤 寿宏	
	会派名	ネ	民	民	公	公	安	自	自	自	自	公	公	公	民	民	市	共	共	共	共	み	民	民	民	公	公	自	自	
市長提出議案 第94号	東京都市公平委員会への加入について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	議長	○	○	○	可決
第95号	建物の譲与について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○		○	○	○	可決
第100号	立川市保育所設置条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○		○	○	○	可決
第101号	立川市公平委員会設置条例を廃止する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○		○	○	○	可決
第105号	平成22年度立川市一般会計補正予算(第6号)	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○		○	○	○	可決
第111号	平成22年度立川市特別会計後期高齢者医療事業補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○		○	○	○	可決
第112号	土地の買入れについて	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○		○	○	○	可決
第114号	立川市自転車等駐車場条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○		○	○	○	可決

全会一致で可決・同意・採択された議案等

第2回市議会臨時会

市長提出議案 第91号	立川市議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	市長提出議案 第93号	立川市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
第92号	立川市常勤特別職職員給与等支給条例の一部を改正する条例		

第4回市議会定例会

議員提出議案 第22号	ヒトT細胞白血病ウイルス1型(HTLV-1)総合対策を求める意見書	市長提出議案 第104号	立川市市民会館指定管理者の指定について
第23号	地方経済の活性化策を求める意見書	第106号	平成22年度立川市特別会計競輪事業補正予算(第2号)
第24号	脳脊髄液減少症の診断・治療法の確立を求める意見書	第107号	平成22年度立川市特別会計国民健康保険事業補正予算(第2号)
第25号	国民健康保険における国庫負担の引き上げを求める意見書	第108号	平成22年度立川市特別会計下水道事業補正予算(第3号)
第26号	若者の深刻な就職難打開のための施策を政府に求める意見書	第109号	平成22年度立川市特別会計駐車場事業補正予算(第1号)
第27号	容器包装リサイクル法を改正し、発生抑制と再使用を促進するための法律とすることを求める意見書	第110号	平成22年度立川市特別会計介護保険事業補正予算(第2号)
市長提出議案 第96号	立川市道北40号線の廃止について	第113号	立川市西武立川駅北口有料自転車駐車場指定管理者の指定について
第97号	立川市道北41号線の廃止について	第115号	立川市固定資産評価審査委員会委員の選任について
第98号	立川市公園条例の一部を改正する条例	陳情 第17号	「容器包装リサイクル法を改正し、発生抑制と再使用を促進するための法律の制定を求める意見書」の採択を求めるに関する陳情
第102号	立川市立川駅南口立体有料自転車駐車場ほか6施設の指定管理者の指定について		

※市長提出議案 第99号「立川市自転車等駐車場条例の一部を改正する条例」及び第103号「立川市西武立川駅北口有料自転車駐車場指定管理者の指定について」は撤回されました。

総務委員会

〔議案等の審査〕

- ◆「東京都市公平委員会への加入について」を可決すべきものと決定
- ◆「立川市公平委員会設置条例を廃止する条例」を可決すべきものと決定

〔主な報告事項〕

- ◆JR中央線連続立体交差事業高架下利活用について
市の利用面積は約800平方メートルで、使用開始時期は平成24年度以降。
- ◆新規派遣研修について
姉妹都市である長野県大町市及び立川市に本店のある金融機関に職員を1年間派遣する。
- ◆立川市第3次住宅マスタープラン(素案)について
12月14日から1か月間パブリックコメントを行って策定作業を進め、平成23年3月の議会で報告する予定。



活用が待たれる高架下

環境建設委員会

〔議案等の審査〕

- ◆「立川市道北40号線の廃止について」を可決すべきものと決定
- ◆「立川市道北41号線の廃止について」を可決すべきものと決定
- ◆「立川市立川駅南口立体有料自転車駐車場ほか6施設の指定管理者の指定について」を可決すべきものと決定
- ◆「立川市西武立川駅北口有料自転車駐車場指定管理者の指定について」を可決すべきものと決定
- ◆「『容器包装リサイクル法を改正し、発生抑制と再使用を促進するための法律の制定を求める意見書』の採択を求めるに関する陳情」を採択すべきものと決定

〔特定事件〕

- ◆清掃工場移転について

〔主な報告事項〕

- ◆多摩モノレール高松駅におけるレンタサイクル事業について
- ◆立川市都市計画マスタープランの改定について

駐輪場を造成中
(西武立川駅)

立川まちづくり特別委員会

〔特定事件〕

- ◆旧庁舎周辺地域まちづくりについて
- ◆立川駅北口西地区再開発及び立川駅西側新自由通路について
- ◆都市軸沿道地域まちづくりについて
- ◆新庁舎周辺地域まちづくりについて
- ◆武蔵砂川駅・西武立川駅周辺地区まちづくりについて
- ◆立川基地跡地昭島地区まちづくりについて



旧庁舎跡地

厚生産業委員会

〔議案等の審査〕

- ◆「立川市市民会館指定管理者の指定について」を可決すべきものと決定

〔主な報告事項〕

- ◆新文化振興計画の策定状況について
5つの取り組み方針と、これに基づく16の実施項目を設定。現在計画素案を作成中。
- ◆「2011年成人を祝うつどい」の実施について
平成23年1月10日に立川市市民会館で行う。対象者は11月20日現在、1,823人。
- ◆子宮頸がん等ワクチン接種の助成について
市の医師会と調整を図り、平成23年2月から実施できるように努力したい。
- ◆西砂保育園分園の建設について
分園設置工事が平成23年4月に間に合わないため現行の定員で移管し、分園完成時に定員の拡大を図る。

指定管理者が決定
(アミューたちかわ)

文教委員会

〔主な報告事項〕

- ◆立川市学校教育振興基本計画等について
素案を広報たちかわとホームページに掲載し、市民の意見を踏まえて策定。
- ◆立川市立第一小学校建替え事業について
現在マスタープランに基づき基本設計に着手。平成24年8月の夏休みを利用して仮設校舎へ引っ越し、9月から仮設校舎で授業を行う予定。平成26年9月より新校舎での授業がスタート。
- ◆新学校給食共同調理場整備運営事業について
PFI手法による整備を進めている。審査委員会で12月中に落札者を決定する予定。平成23年度から24年度で設計建設を行い、維持管理運営期間は平成25年度から15年間で予定。
- ◆立川市市民体育大会駅伝大会のコース変更について
今年度は立川市役所の新庁舎落成を記念し、市役所をスタートして立川警察署などを通り、市役所に戻るコースで開催。

最後までたすきを
(駅伝大会)

行政視察報告

視察報告書は市役所3階市政情報コーナーで公開しています。

総務委員会 平成22年11月9日から11月11日

- 北名古屋市 議会モニター制度について
公募したモニターに議会の傍聴してもらい、議会運営に関する意見提案を文書で提出してもらう
- 高松市 自転車を利用した都市(まち)づくりについて
自転車道の整備やレンタサイクル事業、駐輪場対策など
- 松山市 市単独事業の光ファイバー網整備について
市内3,000kmの光ファイバー網を整備し、企業誘致や人材育成などを行っている



レンタサイクル事業(高松市)

厚生産業委員会 平成22年11月8日から11月10日

- 北見市 障害者の就業・生活支援について
障害者就業・生活支援センター事業で一体的な支援を行う
- 旭川市 地場産業活性化策のまちなか交流館について
空きビルスペースを活用し、人・もの・情報の交流拠点を形成し賑わいを創出
- 稚内市 子育て支援について(わいわい子育て支援事業)、高齢者対策について
子どもを育てやすく、また高齢者が安心して暮らせるまちづくり



障害者が働く印刷作業室(北見市)

意見書



(要 旨)

12月20日付の本会議で議員提出議案の意見書6件を可決し、同日付けで関係機関に送付しました。

ヒトT細胞白血病ウイルス1型(HTLV-1)総合対策を求める意見書

国に対し、次の事項について早急に実現するよう強く求める。
1 医療関係者や地域保健担当者を対象とした研修会を早急に実施すること など

地方経済の活性化策を求める意見書

国に対し次の項目を含め、地域に即した事業支援による地方経済の活性化策を速やかに実施するよう強く要請する。
1 「地域活性化交付金」の拡充を含め自治体に対する予算を大幅に拡充すること など

脳脊髄液減少症の診断・治療法の確立を求める意見書

国に対し、次の事項について強く求める。
1 「脳脊髄液減少症の診断・治療の確立に関する研究」事業においては、症例数において中間目標(100症例)が達成されたため、本年度中に脳脊髄液減少症の診断基準を定めること など

国民健康保険における国庫負担の引き上げを求める意見書

加入者の多くが無職者、年金

生活者などの低所得者で、保険料負担が深刻になっている。国民皆保険の要としての役割を果たせるよう、国庫負担の引き上げを強く求めるもの

若者の深刻な就職難打開のための施策を政府に求める意見書

国に対し、次の事項について求める。
1 企業に対し、新卒者の求人と採用を増やすことを求めること など

容器包装リサイクル法を改正し、発生抑制と再使用を促進するための法律とすることを求める意見書

国に対し、次の事項について求める。
1 容器包装リサイクル法の役割分担を見直し、分別収集・選別保管の費用負担のあり方を明記すること など

請願陳情

12月定例会には新たに陳情1件が提出され慎重に審議しました。
その結果、採択されました。

○採択されました

件 名	要 旨
「容器包装リサイクル法を改正し、発生抑制と再使用を促進するための法律の制定を求める意見書」の採択を求めるに関する陳情	リデュース(発生抑制)、リユース(再使用)を促進するため、容器包装リサイクル法の改正を求める意見書を関係機関に提出することを求めるもの

陳情はこうなりました

平成22年第3回定例会(9月議会)において採択され、市長あて送付した陳情について、12月20日に市長から議長あてに「陳情の処理の経過並びに結果について」報告がありました。

○陳情第13号 細菌性髄膜炎関連ワクチンに対する助成を求める陳情

第176回国会において、「子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進臨時特例交付金」として、地方自治体におけるヒブ(インフルエンザ菌b型)ワクチン、小児用肺炎球菌ワクチン等に係る接種事業を促進するための基金を都道府県に設置する財政支援が予算化されました。

こうした国の動きを踏まえ、子育て支援の観点から、今年度からワクチン助成を実施したいと考えております。実施開始時期など詳細につきましては、周辺市町村の動向を注視するとともに医師会とも調整した中で、接種方法、費用の助成額等の検討を行ってまいります。

○陳情第14号 子宮頸がん予防HPVワクチンに対する助成を求める陳情

第176回国会において、「子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進臨時特例交付金」として、地方自治体における子宮頸がん予防ワクチン等に係る接種事業を促進するための基金を都道府県に設置する財政支援が予算化されました。

こうした国の動きを踏まえ、がん対策の観点から、今年度からワクチン助成を実施したいと考えております。実施開始時期など詳細につきましては、周辺市町村の動向を注視するとともに医師会とも調整した中で、接種方法、費用の助成額等の検討を行ってまいります。

家にいながら議会が見られます！
議会のインターネット中継を開始

立川市議会では、12月の議会よりインターネット中継を開始しました。中継を行うのは本会議で、会議開始から終了まで行います。また、会議日の概ね4日後(土曜、日曜、祝日を除く)から録画配信を行います。録画は次の定例会が始まるまでご覧いただけます。

立川市議会のトップページから「インターネット議会中継」をクリックしてご覧ください。



立川市議会
検索

クリック!



平成23年第1回市議会定例会会議日程表(予定)

月 日	会 議 名	摘 要
2月 21(月)	本 会 議	会期の決定、請願・陳情の付託、議案審議、予算提案説明
24(木)	本 会 議	代表質問、予算特別委員会設置付託
28(月)	予 算 特 別 委 員 会	
3月 1(火)	予 算 特 別 委 員 会	
2(水)	予 算 特 別 委 員 会	
3(木)	予 算 特 別 委 員 会	
4(金)	予 算 特 別 委 員 会	
7(月)	総 務 委 員 会	
8(火)	厚 生 産 業 委 員 会	
9(水)	環 境 建 設 委 員 会	
10(木)	立 川 ま ち づ く り 特 別 委 員 会	
11(金)	文 教 委 員 会	
14(月)	本 会 議	一般質問
15(火)	本 会 議	一般質問
18(金)	議 会 運 営 委 員 会	
22(火)	本 会 議	議案審議、委員会審査意見報告

★開始時間は各日午前10時(3月18日のみ14時)からの予定です。

※本会議・委員会は傍聴できますので、お気軽にお越しください。

傍聴受け付けは会議開始15分前より行います。
※本定例会で審議する請願・陳情の締め切りは2月16日(水)午後5時です。

お問い合わせ 議会事務局 ☎523-2111 内線 3326、3327